

ラグビー ワールドカップ 2019™

特集2



開催都市
神奈川県・横浜市

夏季オリンピック、FIFAワールドカップと並び、世界三大スポーツイベントの一つと言われるラグビーワールドカップ(™)が日本(アジア)で初開催され、横浜では決勝・準決勝を含む7試合が繰り広げられます。

今月号では、ラグビーの魅力やルール、選手の心について特集します。

ラグビーのココがスゴイ！



1 総重量800キロを
超えるスクラム!?

「ヒグマが襲い掛かってきたときの「撃」」時速50キロの車の衝突事故、「体重3〜4トンのサイを背負う」。スクラムの衝撃の凄まじさはさまざまなものに例えられる。



2 ラインアウトは
バスケットゴールすらも
超える!?

チームの中でも背の高い選手が他の選手を担ぎ上げるラインアウト。トップ選手になると、目線の高さは歩行者信号機(約2.50m)やバスケットゴール(約3.05m)を超すとか。



3 トップスピードは
スズメバチに匹敵する!?

ラグビー界最速と言われる選手のトップスピードはスズメバチ(約30〜40km/h)にも匹敵する。



ラグビーのさまざまなプレー

ラグビーの花形とも言えるプレーを簡単に紹介します。

■トライ



敵陣の一番奥（インゴール）でボールを地面へ置く得点方法。決めたチームには5点が加算され、更にコンバージョンキックの機会が与えられる。

■キック



ラグビーでは蹴ったボールがゴールポストを通ると得点になる。得点となるキックは全部で3種類あり、プレー中にボールを地面にバウンドさせてから蹴るドロップゴール（3点）。相手の反則後に行われるペナルティゴール（3点）。そして、トライ成立後に行われるコンバージョンキック（2点）。

■パス



ラグビーは自分より横か後ろにいる選手にしかパスを投げることはできないため、ボールを持って運ぶこととなり、ラグビーの醍醐味であるパワフルな接触プレーが行われることになる。

■スクラム



反則が起きた際、8人対8人で押し合って、真ん中に投げ入れられたボールを奪い合う、試合再開方法。「スクラムの強いチームは負けない」と言われることもあるほど重要なプレーの一つ。

■ラインアウト



ボールがコート外に出た際のプレー再開方法の一つ。両チームの選手が対面して並ぶ間に投げ入れられたボールを奪い合う。

■タックル



ボールを持った選手を止めよう（倒そう）とするディフェンスのプレー。タックルの際は必ず相手を掴む必要があり、ボールを持っていない選手へのタックルは反則となる。

初心者向けのルール解説

基本的なルールをご紹介します。これだけ理解すれば、ラグビーを楽しく観戦することができます。

15人对15人で80分(前半40分+後半40分)の間ボールを奪い合い、敵陣の最後部までボールを運び、その得点を競い合います。パスは後ろにしかできないため、基本的にボールを持って運ぶことになり、その結果、ラグビーの醍醐味であるパワフルな接触プレーが行われることになります。

ポジション

-POSITIONS-

それぞれが特徴あるポジションであり、観戦の際の大きなポイントとなる。

フォワード(FW)

試合中にスクラムを組むメンバー、体が大きく、力がある選手が多い。

1 左ブロップ(PR)
スクラム名人で力持ち

2 フッカー(HO)
スクラムの操縦士

3 右ブロップ(PR)
スクラム名人で力持ち

4 左ロック(LO)
空中のボールをキャッチ

5 右ロック(LO)
空中のボールをキャッチ

6 左フランカー(FL)
チーム1のタックルマン

7 右フランカー(FL)
チーム1のタックルマン

8 ナンバーエイト(No.8)
FWのリーダー的存在

9 スクラムハーフ(SH)
球捌きの名人

10 スタンドオフ(SO)
チームの司令塔

11 左ウィング(WTB)
チーム1のスピードスター

12 左センター(CTB)
タックルとパスの達人

13 右センター(CTB)
タックルとパスの達人

14 右ウィング(WTB)
チーム1のスピードスター

15 バックス(BK)
足が速い選手や、パスやキックが優れている選手が多い。

フルバック(FB)
ディフェンス最後の砦

攻撃方向

得点方法

-SCORING METHODS-

得点は、5点、3点、2点の3種類。

トライ ▶ 5点

攻撃側の選手が相手側のインゴール内の地面にボールをつける。

コンバージョンゴール ▶ 2点

トライ後に、トライをした側がゴールキックによりゴールすることができる。

ペナルティゴール ▶ 3点

相手チームの反則後にゴールキックが成功することで、ペナルティゴールとなる。

ドロップゴール ▶ 3点

プレーの最中にドロップキックからゴールする。

ルール

-RULES-

ラグビーの一層の理解がより試合を楽しむ。

ノックオン

ボールを前に落としてしまうこと。

スローフォワード

ボールを前にパスしてしまうこと。

オフサイド

プレーをしてはいけない場所からプレーに加わること。

ノットリリースザボール

タックルで倒された選手がボールを離さないこと。

ノットロールアウェイ

タックルをした選手、またはタックルをされた選手が地面に倒れ、ボールから離れないこと。

ラグビー用語

-RUGBY KEYWORDS-

これだけ覚えるだけでも、ずっとラグビーが面白くなる。

タックル

ボールを持った選手をつかんで倒す。ラグビーの醍醐味とも言えるプレー。

スクラム

8人对8人で組み合い、真ん中に投げ入れられたボールを奪い合うセットプレー。

ラインアウト

ボールがタッチラインから外側に出た時に試合を再開させるセットプレー。

ドロップキック

ボールを地面にバウンドさせてから蹴るキックの仕方。

ブレースキック

試合を停止させた状態で、地面に置いたボールを蹴るキックの仕方。

モール

ボールを持った選手を中心に両チームが組み合う状態。

ラック

地面に転がるボールを両チームが組み合って奪い合う状態。

ノーサイド

激しく戦った両チームのプレーヤー全員が、お互いの健闘を称えあう、ラグビーの精神。日本では試合終了の合図も意味する。

ラグビーの心

ラグビーでは人の心にまつわるさまざまな逸話が残されています。
それらを知ってラグビーを観ると、また一味違った魅力に気付くことができるかもしれません。

キャプテンの役割

スポーツには心を育てる側面がありますが、その中でも多くの仲間を率い、試合中の意思決定をも担うラグビーのキャプテンは、特にその側面が強いと言えます。

例えば反則が起きた場合、審判はキャプテンに注意をします。そしてキャプテンは、その選手に注意の内容を伝えるだけでなく、必要に応じて仲間を集め、審判の注意を伝えます。

また、ラグビーでは反則後のリスタートの際、ペナルティ・ゴールやスクラムなど複数の選択肢があります。最終的にその判断はキャプテンに任されています。ラグビーワールドカップ2019で、日本代表が南アフリカ代表に勝利したことは世界を驚愕させました。これは、試合終了間際のリスタートで、キャプテンのリーチ・マイケル選手が勝ちにこだわり、逆転を狙う方法（スクラム）を選択したことで成し遂げられた、番狂わせだったと言えるでしょう。

大人数を率い、さまざまな判断を行う経験は、人生の中で多くはありません。だからこそ、ラグビーでキャプテンを経験した選手は、人の苦しみを理解し、仲間のために頑張れる人になれるのかもしれません。

ノースাইドの精神

かつて、ラグビーの試合終了の笛は「ノースাইド」と呼んでいましたが、時代とともに、世界では「フルタイム」と呼ぶことが一般的になりました。

そんな中、日本では今でも「ノースাইド」と呼んでいます。理由は定かではありませんが、もしかしたら、ボールを持つ側（サイド）が無くなるという意味の「ノースাইド」という言葉が、フェアプレーを大切にしている日本人の心にマッチしたからなのかもしれません。

どんなに激しく戦っても、試合が終われば称え合い、感謝し、永遠の友情を誓い合う、先人たちが大切に育んできたラグーマンならではのスピリットは、ノースাইドの精神と呼ばれており、今も世界を相手に戦う日本のラグーマンの心に、しっかりと引き継がれています。

ラグビーワールドカップ2019™チケット販売情報

現在、チケットの第3次一般販売中。また既に購入した人が、やむを得ず観戦できなくなったチケットを定価で再販するための「公式リセットサービス」が5月31日より開始されます。

ラグビーワールドカップ

検索

Web
サイトは
こちら



Webサイト 「横浜ラグビー情報」配信中!

市・県が運営するWebサイト。県主催のイベント情報やラグビーの見どころを発信中。イベントでは、入場無料のパブリックビューイングや、数量限定グッズの配布も。市内・県内の身近なラグビー関連情報も併せて配信中。チェックしてラグビーに詳しくなろう!

横浜ラグビー情報

検索